

災害時の水の確保について



たけべ すみお
竹部 澄雄
議員

質問 東日本大震災の時に、美浦村で断水した地域と日数について伺う。

答弁 (経済建設部長) 村内全域を対象に、3日間で延べ22時間ほど断水。また、郷中地区において排水管に漏水が発見され復旧工事を行った。

質問 美浦村地域防災計画では上下水道の耐震化を計画的に図るようになっているが、美浦村上水道および下水道処理場の耐震について伺う。

答弁 (経済建設部長) 東日本大震災後、美浦村防災会議において平成24年3月に美浦村地域防災計画の修正が行わ

れ、災害予防計画の地震に強い街づくりとして上下水道施設の耐震化を推進する事とされている。管理本館の塔屋の一部に性能不足はあるが建屋部分は、耐震判定指標を満たし配水池も震度6に対応、処理センター及び農業集落排水事業3処理施設は、新耐震基準により建設されている。

質問 村が災害時の飲料水として備蓄している飲料水の量と給水車両の台数を伺う。

答弁 (総務部長) 衛生的な飲料水を提供するために、自治体や民間企業と相互の応援協定を締結し、飲料水の備蓄を行っている。木原小、大谷小、安中小、美浦村役場の防災倉庫に500mlスーパーパー保存水ペットボトル合計3,048本を確保、給水車は所存していないが、給水用2トントラック1台、1トントラック1台

を所有し車両に積載して給水車として使用している。

質問 災害時に避難する公共施設には、防災井戸が設備されているのか伺う。

答弁 (総務部長) 村が管理する公共施設に井戸はない。

質問 災害時に水道の配水機能が停止した場合、生活用水及び飲料水を確保するために各都道府県自治体が、実施している「災害時協力井戸制度」の導入を村としても必要だと思いが、村の考えを伺う。

答弁 (総務部長) 自家用井戸水を災害時に提供して頂ける方を募集し、災害時における生活用水の確保、及び公衆衛生の維持に活用できるようにしていきたいと考える。

イノシシ対策について

質問 イノシシの足跡が、安中地区で発見され10月頃から畠を仕掛けて捕獲するとのことだが、作物の被害と周辺住

民及び安中小学校の児童の安全確保と陸平縄文ムラまつりの安全対策について伺う。

答弁 (経済建設部長) 村としては、イノシシの行動を詳しく理解したうえで人的な被害が出ないうちに、イノシシを駆除することにより周辺住民・安中小児童の安全確保と農作物の被害を最低限に抑えたい。イノシシが確認された陸平貝塚周辺に「イノシシ注意」の看板を設置する。

答弁 (教育次長) 回覧やチラシ等で、安中小学校児童及び周辺住民に畠の設置場所付近への立ち入り制限等の注意喚起を行う。また、イノシシは茂み等の身を隠せる場所を好むことから、周辺住民に自宅等の除草に協力いただくとともに、陸平縄文ムラまつり会場内の除草作業を行い、イノシシが出てこない環境を作り対応していく。





一般質問

補完的な母子手帳「にっこいこ」



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 体重2500g未満の低出生体重児数は。

答弁 (保健福祉部長) 平成25年度9名、26年度10名、27年度10名、28年度13名、29年度10名。

質問 早産や病気で小さく生まれた赤ちゃんの場合、通常の母子手帳だと生後1ヶ月頃の記入欄には「お乳をよく飲みますか」とか「裸にすると手足をよく動かししますか」等の項目では全て「いいえ」としか記入できない。体重の欄でも1000g以上からしか

記入できないようになっていて、1000g未満だと書き込むところが無い。そこで、小さく生まれた赤ちゃんと母親の為に補完的な手帳を、手作りのものでも良いので作ることはできないか。

答弁 (保健福祉部長) 村としましては、お子さんの月齢に見合った成長が出来ているかを確認し、十分にケアを行っているが、現在の母子手帳を補完する補完的な記録表等を用いるなど、配慮していきたい。



「いじめをスマホで通報」

質問 本村小中学校の、過去5年間のいじめの件数は。

答弁 (教育次長) 平成25年度11件、26年度6件、27年度20件、28年度27件、29年度36件、30年度39件(7月31日現在)

質問 昨今、いじめの発見が難しく、大事に至ってからいじめが発覚するという事が起きている。いじめの通報や相談をすることによって、更にいじめがエスカレートするの

ではないかという心配で通報や相談が出来ずにいる場合もあるのではないかと。そこで、スマートフォンやパソコンから、匿名でいじめの通報や相談ができるというアプリがあるのだが、このアプリを導入することはできないか。

答弁 (教育長) 本村教育委員会としては、SNSの普及などに伴い、従来では想定できないいじめの実態が生じる恐れがあること、またスマホが子どもたちにまで広く普及した今日的な状況を踏まえれば、その状況にあつた対応・体制を構築することは大切であると考える。



美浦村公共下水道整備計画について



はなし こういち
葉梨 公一
議員

質問 美浦村の下水道整備事業の現在の状況は。



答弁 (経済建設部長) 本村

では、住民の生活環境の改善と霞ヶ浦等の水質汚濁を防止し、公共用水域の水質保全に寄与するため公共下水道事業と農業集落排水事業の二事業で整備を進めている。

現在、公共下水道事業は、下水道全体計画区域648haに対して77.16%が整備済みとなっている。農業集落排水事業は舟子地区、信太地区、安中・大須賀津地区の三方所の処理場でし尿及び生活雑排水の処理を行っている。



質問 下水道整備事業未整備地区の今後の整備計画は。又、合併浄化槽の導入への計画はあるのか。

答弁 (経済建設部長) 今後の整備については、本年度は布佐地区と大谷地区の一部59.8haについて新たに事業認可申請を予定しており、既認可区域をはじめ随時整備計画を進めていく。なお、合併浄化槽の導入については考えていない。

質問 下水道整備事業未整備地区の早期整備実現に向けての村長の考えは。

答弁 (村長) 下水道整備事業のほうは、最終が平成36年から37年の完成を予定しており、南原地区から布佐南地区、郷中地区の未整備部分と国道125号線東側の大谷地区の整備を順次進める。

国道125号線東側については、公共下水道事業ではなく安中農業集落排水事業で対応する計画を県に提出している。また舟子地区、信太地区の農業集落排水事業処理施設が老朽化しており、将来的には公共下水道処理施設が一つと、農業集落排水処理施設が一つの、合わせて二施設で運営を進めたい。





一般質問

プログラミング教育について



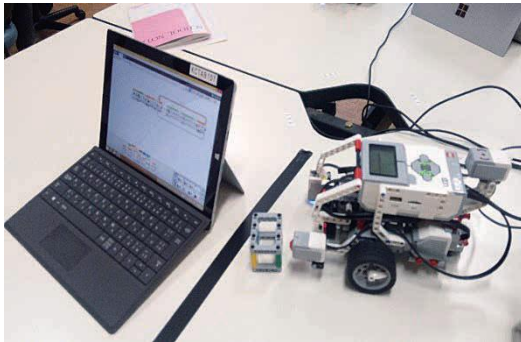
飯田 洋司 議員

質問 プログラミング教育実施で、本村の一番の問題点を伺いたい。

答弁 (教育長) プログラミング教育を行う上で、本村の教育環境は人的物的両面であり、かなり整っているものと思われる。

今年度予算措置し購入した、プログラミング教育に使用している自動車型ロボット(レゴM3)は、村長・私・村内各学校のICT担当職員が東京ビックサイトにて行われた「教育ICTソリューションEXPO」に行った際

に購入を決めた物。このようなことから、美浦村・教育委員会・学校が一体となり、ICTをはじめとするプログラミング教育に取り組む機運が醸成されており、教育委員会としては今後も引き続きこの機運をより一層高めていくことが課題と考えている。



大山スロープ 健全活用について

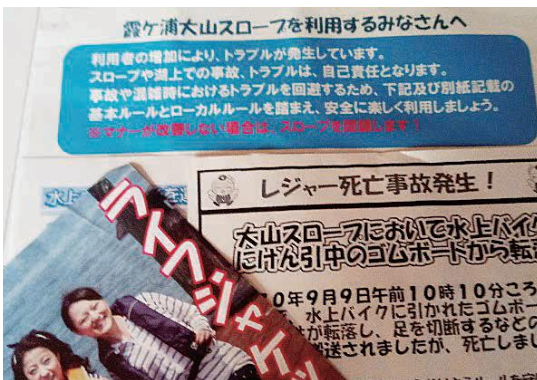
質問 大山スロープ健全活用を考える連絡会が発足しましたが、活動報告、今後の予定など伺いたい。

答弁 (経済建設部長)

今年度は、地元自治体である美浦村が中心となり、地元大山東部の区長・副区長・議員などの住民代表者やジェットスキー・バスボート・水上飛行機などスロープを利用している方々の代表者・稲敷警察署、国土交通省霞ヶ浦河川事務所など、関係者や機関に呼びかけ「大山スロープ健全活用を考える連絡会」を立ち上げ、6月17日と7月8日に開催をした。

議論を重ねた末に作成したローカルルールには湖上でのルールや注意事項、周辺での注意事項や基本的マナーを盛り込んでおり、パンフレットとして多くの利用者に配布するとともに、村ホームページへの掲載、周知看板として設

置をし、呼びかけを行った。



災害時の避難所運営



おがざわ きよし
 岡沢 議員

質問 避難者一人あたりの最低居住スペースは？

答弁 (総務部長) 一人あたり3.3m²を確保している。

質問 各避難所の救護体制は？

答弁 (総務部長) 避難所開設箇所及び避難者数により村職員の配備を考えている。また、保健師、看護師合わせて7人いるが、近隣の医療機関との連携を図っていく。

答弁 (総務部長) 木原小学校校舎1,190人、同体育館240人、木原保育所180人、木原地区多目的集会施設150人、美浦中学校校舎2,060人、同体育館710人、武道館250人、中央公民館870人、美浦幼稚園380人、安中小学校校舎780人、同体育館220人、安中地区多目的集会施設200人、大谷小学校校舎1,580人、同体育館280人、大谷保育所340人となる。



小中学校体育館の夏場の暑さ対策を

質問 異常ともいえる気候変動で、夏休みを過ぎても猛暑日が続いている。また、体育館は避難所となっていることから、特に高齢の避難者の健康維持のために、暑さ対策を。

答弁 (村長) 体育館については、面積が大きいのでかなりの金額が予想される。避難所としても、利用できるということであれば、想定外のことも含めて、整備は必要と考える。文科省に補助の割合を

高めてもらえるよう要請していきたい。

国保税均等割の免除を

質問 18歳以下の第3子以下の国保税均等割の全額免除を求めた。早急に他の自治体の例を調査することだったが、調査の結果は？

答弁 (保健福祉部長) インターネットで検索した結果、全国で、11市が子どもを対象として減免を実施していることが確認できた。例として、取手市では、18歳以下の子どもがいる世帯の子どもすべて均等割額の2分の1を免除している。





一般質問

公有財産台帳の整備状況について



しもむら ひろし
下村 宏
議員

いるものの内容と活用・処分について伺う。

答弁（総務部長） 遊休資産の内容は、表1の通りとなっている。財産の利活用・処分については、条例・規則に基づいて考えていく。

表1

地目	筆数	面積 (㎡)
山林	103	119,227.00
原野	77	33,887.00
雑種地	37	7,348.53
畑	20	10,593.66
田	7	4,841.00
池沼	5	517.00
合計	249	176,414.19

質問 地方公会計制度導入で、平成28年度以降は貸借対照表等財務4表を公表してきたが、この会計で重要となる、固定資産台帳の整備状況と、その内容を探る。

答弁（総務部長） 平成28年度からの、統一的基準による財務書類を作製する為、平成27年度にコンサルティング会社委託により、固定資産台帳の整備を行なった。なお、固定資産台帳は現在公表していない。

質問 早期の固定資産台帳公表を期待するが、この固定資産の中で、遊休資産となつて

質問 遊休地で即宅地となるような土地については、子育て世代に格安で募集等行い有効活用処分を考えてはどうか。

答弁（村長） 宅地として利用できる土地や寄付された物

件もあるので、人口減少を抑止するような対策を踏まえ、先進事例も参考に、美浦村に住んでいただくことを念頭に、早急に対策を考えたい。

道路行政について

質問 現時点で各行政区から村道舗装の申請がどの位上がつて来ているのか。

答弁（経済建設部長） 工事未着手の要望申請は現在9路線となっている。役場周辺地区計画道路を優先して推進して来たため、行政区から要望の舗装は先延ばしとなっている。

質問 行政区要望9案件は優先順位があるのか。また、道路評価基準表を作成した上、活用しているのか。

答弁（経済建設部長） 優先順位については、受付日を基本に交通量等を勘案し協議決定している。これからは、道路評価基準表を整え、より客観的に、適切に判断していく。

質問 平成28年第4回定例会で質問をした、村道105号線の拡幅・修理についての進捗状況は。

答弁（経済建設部長） 村道105号線は、国道125号の美浦トレセン入口交差点から、大須賀津地内を結ぶ、総延長2470mの幹線道路である。29年度には、村道と水路の境界確認測量や路線の地質調査を実施、30年度は先の調査を基に基本道路設計を業務委託し、早期完成を目指して事業を推進していく。



道徳教育について



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 今年度から小学校の道徳が「教科」となり、中学校でも来年度より教科としての授業が行われる。これにより教育現場はどう変わるのか。また、教科化に伴い「評価」が導入されるが、この道徳の評価を巡っては意見も様々である。児童にとって何より大切な「心の成長」をどう評価するのか問う。

答弁（教育次長） 教科化による学習指導要領の改正のポイントは次のとおりである。

① 検定教科書の導入

② 「考え、議論する道徳」
③ 学習評価の実施
また、評価の在り方については、他の児童生徒との比較ではなく、それぞれがいかに成長したかを積極的に受け止め、励ますための個人内評価として行っていく。

質問 道徳性の向上について伺う。いま、社会の倫理観が薄れているのではないか。後を絶たないパワハラやセクハラの問題、企業や官庁等の文書改ざん、SNS上の異常な書き込みや動画、留まることを知らない子供への虐待等、社会の道徳性の低下は否めない。目覚ましい技術の進歩とは裏腹に、人間の道徳的水準は低下していないだろうか。「それは、技術の進歩によって勝ち得た力が、道徳の果たしてきた役割を代替して

くれるかのような錯覚による」との教育者の至言が胸に迫る。誰もがより暮らしやすい本村の構築に向け、道徳性啓発のセミナー等の検討はどうか。



答弁（教育長） 道徳観についてはそれぞれの価値観に基づき多様である。本村では平成26年から教育振興計画に基づき「0歳から90歳までの社会力育て」を施策の根幹として取り組んできた。

この社会力とは、周知のとおり「人が人と繋がり社会をつくる力」である。概要は次のとおりである。

① よりよい社会を創るようする意欲や態度
② よりよい社会を具体的に考える力（構想力）
③ 考えたよりよい社会を実現する力（実行力）
そして、これらを踏まえて毎年行われる様々なボランティアへの参加により、更に住民の道徳意識が高まることを期待している。

ケアライズカフェの取り組みについて

質問 認知症や障がい者の家族を支援するカフェの取り組みが広がっている。以前、介護者のためのカフェの提案をしたがその後の検討を尋ねる。

答弁（総務部長） 介護者等が気兼ねなく情報交換ができる居場所づくりとして、認知症カフェを平成32年度の開設に向け取り組んで参りたい。